

(2) 平成22年度 横浜市立図書館の目標

この目標は、中央図書館と17の地域図書館が進める事業の内容と取組姿勢について取りまとめたものです。

基本目標：

市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します

全体目標		市立図書館の具体的取組	参考指標
目標1 市民が必要とする資料・情報を収集します		<ul style="list-style-type: none"> ●市立図書館全体の資料の保存と活用のあり方を見直し、図書館資料の収集、保存、廃棄基準について再検討します。(通年) ●蔵書構成を見直し、欠本補充等により基本図書を整備します。(通年) ●地域図書館へオンラインデータベースを導入します。(地域図書館、5月) ●資料寄贈の仕組みを検討し、資料収集に活かします。(通年) ●健康情報、就労・再就職、子育て等の課題解決支援のための資料や情報を積極的に収集します。(通年) ●地元機関・市民の協力のもと、地域に関する資料・情報を積極的に収集・保存します。(通年) ●より利用しやすく探しやすい図書館とするため、館内表示の改善等の工夫をしていきます。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●入館者数 (対前年度比増) ●総貸出冊数 (対前年度比増) ●寄贈図書受入数 (対前年度比増)
	幅広い資料・情報の収集		
	課題解決の支援のための資料・情報の収集		
	地域に関する資料・情報の収集		
項目	利用しやすい環境づくり		
目標2 資料・情報と市民を結び付けます		<ul style="list-style-type: none"> ●市民の学習や調査研究に対する支援や、市民の抱える課題の解決に役立つ情報サービス提供を進めていきます。(通年) ●レファレンス事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースを通じて、インターネットで発信します。(通年) <ul style="list-style-type: none"> *「レファレンス」…利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。 ●図書館ホームページを迅速に更新するとともに、課題解決に役立つリンク集や企画事業・地域資料案内の掲載等のコンテンツを充実させます。(通年) <ul style="list-style-type: none"> *「コンテンツ」…データベースに蓄積されたデータや画像・音声データなどの内容・中身のこと。 ●案内カウンター「ヘルプデスク」を新設し、司書による読書案内・課題解決支援を充実します。(中央図書館、4月) ●国民読書年や地域のニーズに合った企画事業を進めます。(通年) ●未利用者に図書館機能をPRするため、移動図書館の機動力を活かし、ビジネス街におけるビジネス支援事業を開始します。(中央図書館) ●利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(通年) ●利用者のマナー向上に向けた働きかけを行います。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●レファレンス受付件数 (対前年度比増) ●HPアクセス数 (対前年度比増) ●新規登録者数 (対前年度比増) ●記者発表数 (対前年度比増)
	市民の学び・調査研究や課題解決への支援		
	図書館の存在・機能・役割の広報		
	国民読書年事業をはじめとする企画事業の実施		
	ホームページや印刷物などを利用した情報発信		
項目	利用者への親切な対応		

全体目標		市立図書館の具体的取組	参考指標
目標3 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します		<ul style="list-style-type: none"> ●平成20年度に策定した「横浜国立図書館児童サービス2か年計画」に基づき、図書館での児童サービスの推進、家庭や地域・学校での読書活動の支援を実施していきます。（通年） ●福祉保健センター、子育て支援拠点等と連携し、おはなし会等の企画事業を実施します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年） ●子ども読書の日（4月23日）、読書週間（10月27日～11月9日）にあわせ、関係機関やボランティアと連携し、おはなし会や読書フェスティバル等の企画事業を実施します。（4月、10月～11月） ●区役所等と子育て支援の連携を推進します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年） ●読み聞かせボランティア養成講座の実施、市内ボランティアグループへの研修講師派遣を行うなど、地域・学校での読書活動を積極的に支援します。（通年） 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童書の貸出冊数 （対前年度比増） ●おはなし会等事業の参加者数 （対前年度比増） ●教職員向け貸出冊数 （対前年度比増） ●読み聞かせ等ボランティア養成講座の受講者数 （対前年度比増）
項目	児童サービスの推進		
	家庭・地域での子どもの読書の支援		
	学校教育及び学校図書館への支援		
	読み聞かせ等ボランティアの養成・支援		
目標4 市民や外部機関と連携し協働を進めます		<ul style="list-style-type: none"> ●利用者会議の設置やボランティア交流会の開催等、市民の声を反映する仕組みづくりを全館で推進します。（通年） ●地域の商店街など、市民や地域と関連するさまざまな機関・団体と連携・協働し、企画事業や講演会事業等を実施します。（中央図書館、一部の地域図書館 通年） ●図書修理、書架整理ボランティア等市民ボランティアによる図書館内の整備事業への参加を進めます。（中央図書館、一部の地域図書館 通年） ●市内の大学と連携して市民向け講座を開催します。（中央図書館） ●図書取次サービス試行事業（区局連携事業）を継続実施します。（中央図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民参加の仕組みづくりを実現した図書館数 （18館） ●図書修理ボランティア養成講座の受講者数 （対前年度比増）
項目	地域で活動する市民との連携・協働		
	市民の声が反映される仕組みづくり		
	企業との連携・協働		
	他機関（大学・研究機関・行政機関など）との連携・協働		
目標5 これからの図書館を考える取組を進めます		<ul style="list-style-type: none"> ●横浜国立図書館アクションプランを策定します。（中央図書館、12月） ●指定管理者制度導入の山内図書館の運営状況について、有識者等による評価委員会を設置し、導入効果を評価します。（中央図書館、3月） ●管理運営費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。（中央図書館、通年） ●地域図書館長・副館長を対象とした研修を実施し、マネジメント能力の向上を図ります。（中央図書館、通年） ●司書の人材育成計画を策定します。（中央図書館、12月） ●利用者の多様なニーズに応えるため、司書の資質向上に努め、レファレンス対応・窓口対応等きめ細かい研修を実施します。（通年） 	<ul style="list-style-type: none"> ●広告導入等による歳入確保額及び節減額 （対前年度比増）
項目	図書館の中期的な目標についての検討		
	次期の図書館システムの検討に必要な課題の整理		
	図書館の評価の仕組みの検討		
	効率的な図書館運営の検討		
	職員の資質の向上		

()内は数値目標です。